

# 議員が注目の議案！

28議案を審議  
全議案を原案通り可決



詳しくは  
議会HPへ

## 「総合政策課」を新設、 「税務会計課」を「財務会計課」に統合

新年度の機構改革により、改革や施策の目的が一貫され、政策の実効性の向上が図られます。国交付金等への対応をはじめ、庁内の情報共有による各課横断的な業務にスピード感を持った対応の強化が期待されます。

「総合政策課」を新設。課内に「企画創生係」「地域戦略係」を新設し、総務課「デジタル推進室」を移管。税務課と会計課を統合し、「財務会計課」を新設。合理的な統合であり、戦略的且つ機動的な対応が期待されます。

また、教育こども課内に、国民スポーツ大会の開催準備を担当する「国スポ推進室」が新設されます。



総合政策課を新設

### R8年度下水道事業会計予算 ウォーターPPPを視野に

ウォーターPPPについては、R7年度には希望企業に説明会を開催し10数社の参加がありました。R8年度上半期に民間企業へ町としての案を示し対面による意識調査を行い導入を検討し、下半期で事業化に向けて次のステップに進む計画です。

**「まめ知識」**  
ウォーターPPPってなに？  
水道・下水道事業において、民間のノウハウを活用し、施設の維持管理と更新（改築）を長期かつ一体的に行う官民連携方式です。これまでに個別に発注していた業務を一体化して発注することで、職員減少や施設の老朽化に対応し、事業の持続可能性を高めるため国が推進しています。

### 水道料金見直しも審議予定

R8年度は、老朽化した配水管の布設替えを含め、各種工事数が増加する見込みのため、借入金額をこれまでよりも増額して計上。  
R7年度に見直した投資資産運用と、新たに策定した水道施設更新計画に基づき、効率的かつ安定した事業経営が目指されます。また、適正な水道料金について、上下水道審議会で審議される予定です。

### 下諏訪町商工業振興条例の一部改正

商店街の空き店舗等を活用し新たな起業を行う際に支援を行うのが、

「チャレンジ起業支援事業」です。これまで商工業振興条例の補助事業として定められていましたが、条例から削除し、独立した「下諏訪町チャレンジ起業支援事業補助金交付要綱」として整備されることになりました。国庫補助制度の活用を見据えるとともに、町外事業者、2件目以降の店舗も対象に加えること等の補助内容の見直しも行い、地域活性化につなげていく町の意向です。

### 「子ども・子育て支援納付金」 によって国保税率改定

R8年4月から「子ども・子育て支援金制度」が創設されることに伴い、国保税率を改正し、子ども・子育て支援納付金を県に納付し、国保税に支援金を上乗せするため平均2・49%引き上げの税率改定が行われます。

子育て支援は公費で行われるべき。物価高騰が続く中、増税は反対。子育て支援拡充と若い世代の所得向上のため賛成との討論があり、賛成多数で可決しました。

## 2月臨時会 町民生活を支える補正予算を審議 令和7年度下諏訪町一般会計補正予算

### 令和8年2月に臨時会が開かれ、一般会計補正予算3件を審議

#### 【物価高騰対応子育て応援手当】

物価高騰の影響を受ける子育て世帯の家計負担を軽減するために、物価高対応子育て応援手当（0才から高校3年生までの児童1人につき2万円）を支給する経費4935万円が追加されました。内訳は給付費4740万円、事務費195万円です。早急に支援を行う必要があることから専決処分とされ、承認しました。

#### 【衆議院議員総選挙を執行するための経費】

衆議院議員総選挙の執行に伴い、投票所の設営や入場券の発送、開票事務などに必要な経費として1144万円が追加されました。財源は全額国からです。選挙を適正かつ円滑に実施するための補正が専決処分され、承認しました。

#### 【プレミアム付商品券発行・支給事業、住民税非課税世帯に対しエアコン設置促進事業】

物価高騰対策として、プレミアム付商品券発行事業1億305万円、生活応援プレミアム付商品券支給事業2240万円を計上し、地域経済の活性化と家計支援が図られます。また、住民税非課税世帯の熱中症対策として、エアコン設置促進支援事業862万円が追加されました。こちらは、R7年度予算ですが、R8年度に繰り越され、申請期間は、R8年4月1日からR8年11月30日までとなります。予算決算審査特別委員会で審査を行い可決しました。

### 精神障がい者1級・2級の入院費が福祉医療費の対象に

福祉医療費給付金条例の一部改正により、県の福祉医療費給付事業の対象拡大に伴い、精神障がい者保健福祉手帳1級・2級の所持者はこれまで外来医療費のみ助成されていましたが、入院費も福祉医療費の対象となります。

### 勤労青少年ホームを下諏訪町公民館へ統合

両施設を統合し下諏訪町公民館の名称で施設運営されます。勤労青少年ホームは、公民館と同じ位置付けで講座等を行っており、「学びの場」として施設の集約化や別々に行っていた予算執行と事務事業の効率化を図ることが目的です。

### 特別養護老人ホーム事業

特別養護老人ホーム事業特別会計予算では、一般会計からの繰入金が増えています。施設が老朽化し修繕費も増えている状況です。

ハイム天白は、自治体が設置し運営している県内唯一の特別養護老人



下諏訪向陽高校

ホームです。限られた予算の中、地域のセーフティネットとして職員のみなさんに入所者の立場に立って、素晴らしい介護を実践していただいています。

### 下諏訪向陽高校の魅力向上へ町が支援

下諏訪向陽高校が実施する、高等学校の魅力を高め入学志願者数を増やす取り組みが、「こども未来基金活用事業」の支援メニューに追加されます。R8年度から放課後の英語塾と特別講師による授業などが行われます。また、進学希望者だけでなく、就職を希望する生徒には、地元企業と連携し、ものづくり産業の重要性や地元就職のメリットを伝えていく予定です。



プレミアム付商品券